

学生を中心とした自発的な公共交通利用促進活動の実践者育成プログラム業務委託
質問・回答書

番号	質問事項	質問内容	回答
1	企画提案書の提出期限について	<ul style="list-style-type: none"> 募集要項3ページの(5)企画提案書の提案書等には「①提出期限：平成30年7月27日(金)17:00まで」と記載があり、5ページの5.スケジュール(予定)には「平成30年7月30日(月) 提案書提出期限」と記載があります。どちらが企画提案書の提出期限となりますでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画提案書の提出期限は、平成30年7月30日(月)となります。
2	プレゼンテーションの参加者数の設定について	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションには何名参加可能でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明者は合計で6名までとします。その他の見学は可能です。
3	プレゼンテーション時の機材借用等について	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションの際、基本的に提出した企画提案書で行うものとしますが、別途同様の内容をパワーポイントとして作成し、説明することは可能でしょうか。上記パワーポイントでの説明が可能な場合、プロジェクター、ケーブル等は借用可能でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンの使用は、提出していただいた企画提案書の投影に限り認めます。スクリーン、延長コードは市で用意します。
4	業務の内容について(仕様書)	<p>学生を中心としたチームでの検討作業の参加者の募集(仕様書3(1))</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて検討作業に参加してもらう市民・大学生の募集に向けた周知広報等の費用は、本業務に含まれるという認識でよろしいでしょうか。また、市民・大学生へ 	<ul style="list-style-type: none"> 周知広報等の費用については、業務に含まれるという認識で問題ありません。参加者への謝金は見込んでいませんが、見積書に計上し、本業務へ含むことは可とします。

		<p>の謝金は本業務内に含まれるという認識でよろしいでしょうか。(必要な場合)</p> <p>実践者育成プログラムの実施(仕様書3(2)) 公共交通に関する知識の教え込み作業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場の手配、講師・専門家への謝金等は本業務内に含まれるという認識でよろしいでしょうか。(必要な場合) 	<ul style="list-style-type: none"> 会場の手配、講師・専門家への謝金を見込んでいます。
5	打合せについて	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ回数については、特に指定回数はないということでしょうか。その場合、打合せ回数も提案するという認識でよろしいでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 回数に指定はありません。プログラムの内容に合わせ必要と思われる回数を想定し提案してください。
6	仕様書(案)参考資料について [業務の実施範囲]	<ul style="list-style-type: none"> 業務実施範囲内における「検討作業等に関すること」の項目「ファシリテーターの確保」については、当社職員・技術者で対応することを想定しておりますが、学識経験者、専門家の手配は必要でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ファシリテーターは、受託業者の社内外は問いません。また、学識経験者、専門家であることが要件ではありません。必要とされる方をご提案願います。
7	他事業との連携について	<ul style="list-style-type: none"> 弊社は仙台市が主に費用負担する、学生によるまちづくり推進事業「仙台ミラソン」、そして、(株)コカ・コーラ ボトラーズジャパンが主に費用負担する、学生の社会貢献活動表彰制度「仙台若者アワード」の事務局を担当している。本事業を実施する際、学生の応募や事業 PR につなげるため上記二つの事業と連携することは可能か?(事業費の重なりがない形で) 具体的には9月に開催される「仙台ミラソン」において、参加する学生へ本事業としてテーマ提供を行い、事業参 	<ul style="list-style-type: none"> 受託業者の他事業のイベントの場で、当事業の参加者募集を行うことや、PR をすることは可能です。想定されている連携については、問題ありません。

		画メンバーの一部を募ることを、そして、12月に開催される「仙台若者アワード」において、それまでに考えた利用促進策のプレゼンテーションを行い、協力者や賛同者を集める事を想定している。	
8	事業の開始時期について	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール案では、8月講座実施となっているが、大学生が夏休み中で告知が難しい。そのため、大学が開始する9月中晩以降の告知を行い、10月スタートでもよいか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 事業スケジュールについては、参考イメージですので、募集時期を検討のうえご提案願います。
9	大学等への呼びかけ協力について	<ul style="list-style-type: none"> 上記とも関連するが、効果的な告知をするためには、受託事業者のみならず、仙台市からも大学への告知協力を打診があると広く学生にアプローチできる。特に、事業開始前に仙台市から大学に依頼を行うことで、事業開始後の告知がスムーズになると想像するが、そのようなことは可能か？ 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者募集の広報については契約後、市HPでの告知や、受託者が作成した告知ツールを各大学へ送付する支援、依頼文書を送付することは可能です。また、市内の大学については、直接依頼することも可能です。